

介護、防災など暮らし直結の質問を予定

党議員の
一般質問

3月議会での一般質問(3/16~19)での3人の党議員の質問の予定日時、内容は次の通りです。

上野公悦議員 (16番目 18日午後の予定)

1 訪問介護制度の危機的状況と今後の支援の在り方について

- (1) 近年、全国的に訪問介護サービス事業所の閉鎖が相次いでおり、訪問介護を必要とする高齢者が適切な支援を受けられず、家族の介護の負担が増加するなど、社会に深刻な影響を与えている。在宅介護を支える最後の砦である訪問介護制度が崩壊の危機に瀕しているが、市はこの危機的状況をどのように受け止めているか。また、このような状況は県内や当市も例外ではないと思うが、市として実態を把握しているか。
- (2) この問題には、基本報酬の引き下げに起因する人材不足など、事業者の努力ではどうにもならない構造的な要因があると考え、市長はどう捉えているか。
- (3) このままでは訪問介護の根幹に関わるリスクの増大やサービスの低下、地域包括ケアの崩壊が起きると思うが、どう考えているか。
- (4) 制度維持のため、市として国や県に訪問介護の基本報酬の再引き上げを求めること、地方の実情に沿った訪問介護ヘルパーの移動時間の報酬化に関する制度設計を行うこと、燃料費高騰への恒久的な補助制度を創設すること、介護職員の処遇改善を抜本的に強化することを求めているか。また、当

市独自の支援策として、基本報酬引き下げ分の差額補填、訪問介護で使用する車の燃料費支援、その他必要と思われる支援の制度を構築してはどうか。

2 公共施設等のトイレの洋式化について

- (1) 市民が様々な会議やイベント、避難所として利用している公共施設のトイレについて、洋式化の現状と整備方針について聞きたい。
- (2) 市民の利便性向上やバリアフリーの観点から、トイレの洋式化の状況に関する全庁的な調査を実施する計画はあるか。また、その調査結果に基づいて具体的な洋式化の整備計画を策定する考えはあるか聞きたい。

平良木哲也議員 (21番目 19日午後の予定)

1. 市内の各駅の屋根付き駐輪場について

- (1) 市内各駅の屋根付き駐輪場の整備はどうなっているか。
- (2) 屋根付き駐輪場が不足の駅は早急に整備すべきではないか。

2. 消火栓について

- (1) 市内の多雪型消火栓への更新状況はどうなっているか。
- (2) 積雪が支障となる消火栓を常時使えるようにすべき体制はどうなっているか。
- (3) 多雪型消火栓に更新されていない消火栓は、一刻も早く解

消すべきであるが、どうなっているか。

3. 防犯灯について

- (1) 町内会向けの補助事業でLED化を行った防犯灯は、順次寿命を迎えることになるが、その際の更新費用について、どう考えているか。
- (2) 町内会の加入率が低下した場合は、防犯灯の設置費用などは一部の住民が負担することになり、公平性が保てない。そこで、地域の防犯灯の設置等を市の責任で行うこととすべきではないか。

橋爪法一議員 (22番目 19日午後の予定)

1. 豪雪対策について

- (1) 今冬も災害救助法が適用された。市民からはどんな要望があり、それにどう対応したか聞きたい。
- (2) 災害救助法適用をめぐる検討課題と今後の対策についてどう整理しているか聞きたい。

2. 平和政策について

- (1) 自治体として打ち出す平和政策の意義と課題についてどう考えているか。
- (2) 当市の非核平和友好都市宣言の評価と課題について聞きたい。

排外主義とは何か どう闘うか

たつみコータロー衆院議員の講演から 最終回

最後です。自民党政治の2つの歪みを根本から変え、極右排外主義とのたたかいを断固として進め

ること、こうした2重の役割を堂々と果たせるのは、日本共産党をおいて他にありません。

わが党は、時流に流されず、正論を貫く党としての役割を存分に発揮して奮闘します。そして、反動勢力の危険に正面から対決する新しい国民的民主的共同を呼びかけます。

反動勢力は、これから何をしようと考えているのでしょうか。その一つは「スパイ防止法」の制定です。統一協会が求めていたものです。

「スパイは怖い」「日本はスパイ天国だ」と言われ

れば、「スパイ防止法はある方がとよい」と思う人が必ず出てくると思います。しかし、スパイ防止法は、スパイを摘発するものではありません。だれかが一般の国民を「あいつはスパイだ」と決めて捕まえることになるという話です。

結局政府に都合の悪い人が「スパイ」とされていきます。そして摘発されれば人権は保障されません。だから本当に危険だと思います。

また、「日本人ファーストは、当たり前じゃないか」という素朴な疑問があります。しかし、参政党の憲法草案を見ると、日本人って何なのか、誰のことを指すのかは疑問です。参政党が演説をして

いるところに「差別をやめろ」と抗議しに行ったら、参政党支持者が「お前、ほんまに日本人か」ということになります。つまり彼らにとったら「差別をやめろ」という人は日本人ではないということです。もうすでにそれが起こっています。

「日本人ファースト」ではありません。人間にファーストもセカンドもありません。日本に住んでいる外国人も含めて、すべての人に人権が保障されていくというのが当たり前です。

誰の権利も保障されるというのが一番大事だということを最後に申し上げまして、報告いたします。ありがとうございました。

日本共産党上越市議員団ニューズ
No.899 2026年3月15&22日
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(谷谷区))
(事務局) 山本信子 090-4967-0367 (仲町2(高田区))
ホームページ <https://jcpjoetsudiet.jimdosite.com/>

「しんぶん赤旗」日曜版3月15日号と22日号は合併号です。来週は配達がありません。あらかじめご承知ください。